



# 宮城県助産師会便り

983-0045

宮城県仙台市宮城野区宮城野 2 丁目 7-48-101

一般社団法人宮城県助産師会

第 1 号平成 22 年 6 月 10 日発行

## 一般社団法人宮城県助産師会第1回総会終了



会長挨拶

—新田みつ子—



内容

梅雨の候、会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

H21 年度の事業計画は会員のご活躍とご協力のもと計画どおり通りに行われました。

H22 年度は一般社団法人宮城県助産師会が誕生しました。今までは、支部という形で本部の指示のもと、どこか甘えていたのですが、これからは自立した団体となりましたので、会員一人ひとりが意見を出し合い十分に検討し社会に貢献していかなければなりません。

私たち助産師は産婆の時代から女性の担い手として、なくてはならない存在です。常に助産師は何をする人か社会のニーズに答えるとともに将来に向けて、「助産師の声明」を熟読し、助産師の心「愛」「技」「知」を自分のものとしご活躍していただけることを願っております。微力ながら役員一同精進してまいりますので、これまで以上に皆様のご支援、ご協力お願いいたします。

- 支部長挨拶
- 平成 21 年度事業報告
- 平成 21 年度決算報告(1)
- 平成 21 年度決算報告(2)
- 平成 22 年度予算
- 議事報告
- 平成 22 年度理事・役員
- こんにちは!! 助産院さん  
—まんまはうす 武者文子—
- 編集後記

添付書類

- ☆開業助産師マップ作製  
についてのご依頼
- ☆まなびのめ広報紙
- ☆一般社団法人宮城県助産師会  
定款&細則



平成 22 年度一般社団法人宮城県助産師会第 1 回総会  
—基調講演—

・仙台医療センター産婦人科部長  
小沢信義先生

○子宮頸癌 検診とワクチンで予防できます



## 平成21年度社団法人日本助産師会宮城県支部事業報告

月日	名称	場所	備考
1月17日(土)	新事務所転居		役員とセンター会員
4月5日(日)	会計監査	NPO プラザ事務所	
4月8日	助産師学校入学式2校臨席		支部長
4月25日(土)	宮城県支部総会	Uネット仙台研修室	基調講演受講25人
"	第1回役員会	Uネット仙台研修室	
5月17日(日)	思春期こうえん学習会	事務所	
5月23日(日)	看護の日イベント参加	アエルビル5階	役員7名
5月 日~	日本助産師会通常総会及び助産学会参加		
5月 日	宮城県小児保健研修会理事会		
6月14日(日)	第2回役員会	事務所	
6月2日(日)	宮城県小児保健協会定例理事会		青木出席
6月12日(木)	宮城県各種女性団体連絡会総会	141ビル会議室	新田(双) 田村他5名出席
6月15日	宮城県看護協会通常総会臨席		支部長臨席
6月19日(金)	宮城県各種女性団体総会		8名参加
6月21日(日)	思春期こうえん学習会		7名参加
7月	一機関紙発行一① 研修会案内含む		
7月12日(土)	第3回役員会	事務所	役員
8月9日(日)	「最新の感染症情報とその予防」研修会 スズキ記念病院 佐々木浩美先生	エルパーク仙台 大研修室	34名参加
8月9日(日)	第4回役員会	エルパーク仙台大研 修室	役員
9月6日(日)	第5回役員会	事務所	役員
9月26日(土)			
9月27日(日)	日本助産師会北海道・東北ブロック大会		支部長他12名参加
10月3日(土)	「安全・安心に…」イベント仙台会場 宮城県委託事業	エルパーク仙台 大研修室	13名参加 スタッフ9名
10月3日(土)	第6回役員会	同上終了後	役員
10月14日	一機関紙発行一② 研修会案内含む		
10月25日(日)	宮城県母性衛生学会参加		14名参加
11月8日(日)	第7回役員会	事務所	役員
12月5日(土)	川島隆太先生講演会	仙台国際センター	153人参加
12月5日(日)	第8回役員会	仙台国際センター	役員
12月26日(土)	第1回臨時役員会	事務所	
1月13日(水)	宮城県性教育推進協議会主催研修会	県庁	8名参加
1月16日(土)	北海道・東北ブロック支部長会議	助産師会宮城県支部	
1月24日(日)	第2回臨時役員会	ガーデンパレス	
1月24日(日)	第1回理事会&新年会	ガーデンパレス	役員・理事・会員
1月28日(水)	宮城県小児保健研修会		理事青木他1名参加
2月20日(土)	第9回役員会	事務所	役員
2月27日(日)	「安全・安心に…」イベント栗原会場 宮城県委託事業	築館保健センター	30人参加 スタッフ11人
3月18日	一機関紙発行一③ 総会案内含む		
3月吉日	助産師学校卒業式2校臨席		支部長 書記
3月27日(土)	第10回役員会	事務所	役員



# (社)日本助産師会宮城県支部 平成21年度収支決算書

(平成21年4月1日～平成22年1月19日)

## 収入の部

(単位 円)

科目	H21予算額(a)	H21決算額(b)	差異(b-a)	摘要
支部会費収入	750,000	705,000	Δ 45,000	5000円×141人
研修会資料代収入	220,000	200,000	Δ 20,000	8/9参加者36名12/5参加者153名
胎盤事業収入	300,000	243,735	Δ 56,265	NTT東日本病院9月まで・スズキ病院
雑収入	110,000	112,338	2,338	寄付金斎藤つみみ氏50000円・石川氏
県委託事業収入	140,000	140,000	0	10/3仙台・2/27大崎
当期収入小計[A]	1,520,000	1,401,073	Δ 118,927	
前期繰越収支差額	1,133,806	1,133,806		
収入合計[B]	2,653,806	2,534,879	Δ 118,927	

## 支出の部

(単位 円)

科目	H21予算額(a)	H21決算額(b)	差異(a-b)	摘要
全国総会関連費	230,000	233,792	Δ 3,792	全国総会派遣費50000円3人分 支部負担金10000円
支部総会開催費				支部総会会場費・講師謝礼・資料作成代・弁当代
東北ブロック研修会参加費				ブロック研修支部負担金10000円
研修会開催費	150,000	173,020	Δ 23,020	会場費・講師謝礼
会議費	100,000	137,280	Δ 37,280	役員会・理事会・看護の日係り交通費
会費管理費	6,000	5,220	780	本部への払込手数料・会費管理に関わる通信費
事務費	35,000	34,175	825	事務用品費
通信費	240,000	189,179	50,821	郵送費(総会、研修会、役員会の案内・機関紙など)・電話代
機関紙発行費	40,000	36,170	3,830	3回発行
関連団体負担金	14,000	13,105	895	各女連・性教育推進連絡協議会
ホームページ維持管理費	50,000	54,450	Δ 4,450	サーバー管理費(年間24000円)・会報PDF化・HP修正
慶弔費	10,000	0	10,000	
雑費	5,000	915	4,085	
予備費	5,000	18,000	Δ 13,000	ビジョン救急待機派遣費
県委託事業費	140,000	112,280	27,720	会場費・講師謝礼
事務所経費	600,000	421,889	178,111	家賃40000円+光熱水費
当期支出合計[C]	1,625,000	1,429,475	195,525	
当期収支差額[A]-[C]	Δ 105,000	Δ 28,402		
次期繰越収支差額[B]-[C]	1,028,806	1,105,404	Δ 76,598	



## 平成21年度一般社団法人宮城県助産師会会計報告(2)

### 収入の部

平成22年1月20日から平成22年3月31日まで

科目	県支部の決算額	法人I期決算額	H21合計決算額	摘要
会費収入	705,000	0	705,000	5000円×141人
研修会資料代収入	200,000	0	200,000	8/9参加者36名 12/5参加者153名
胎盤処理料	243,735	93,605	337,340	NTT東日本病院9月まで・スズキ病院
雑収入	112,338	23,022	135,360	寄付金斎藤ついで氏50000円・石川氏・生田目氏・後藤美子氏 他
県委託事業収入	140,000	5,000	145,000	仙台・大崎で開催
当期収入小計[A]	1,401,073	121,627	1,522,700	
前期繰越収支差額	1,133,806	1,105,404	1,133,806	
収入合計[B]	2,534,879	1,227,031	2,656,506	

### 支出の部

(単位 円)

科目	県支部の決算額	法人I期決算額	H21合計決算額	摘要
全国総会派遣費	233,792	0	233,792	全国総会派遣費50000円×3人分 支部負担金10000円
総会開催費				支部総会会場費・講師謝礼・資料作成代・弁当代
全国総会・ブロック研修会負担金				ブロック研修支部負担金10000円
研修会開催費	173,020	0	173,020	2回開催 会場費・講師謝礼
会議費	137,280	52,500	189,780	役員会・理事会・看護の日係り交通費 本部研修への交通費
会費管理費	5,220	1,710	6,930	本部への払込手数料・会費管理に関わる通信費
事務費	34,175	680	34,855	事務用品費
通信費	189,179	50,008	239,187	郵送費(総会、研修会、役員会の案内・機関紙など)・電話代
機関紙発行費	36,170	4,800	40,970	3回発行
関連団体負担金	13,105	0	13,105	各女連・性教育推進連絡協議会
ホームページ維持管理費	54,450	11,340	65,790	サーバー管理費(年間24000円)・会報PDF化・HP修正
慶弔費	0	0	0	
雑費	915	8,785	9,700	
予備費	18,000	209,115	227,115	ハイチ地震義援金 法人取得手数料199315円
県委託事業費	112,280	32,600	144,880	会場費・講師謝礼・パネル製作
事務所経費	421,889	138,316	560,205	家賃40000円+光熱水費
当期支出合計[C]	1,429,475	509,854	1,939,329	
当期収支差額[A]-[C]	Δ 28,402	Δ 388,227	Δ 416,629	
次期繰越収支差額[B]-[C]	1,105,404	717,177	717,177	



# (社)宮城県助産師会 第Ⅱ期予算

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

## 収入の部

(単位 円)

科目	H21 決算額	H22 予算額	差異	摘要
会費収入	705,000	750,000	45,000	5000 円×150 人
研修会資料代収入	200,000	80,000	Δ 120,000	
胎盤処理料	337,340	250,000	Δ 87,340	スズキ病院
雑収入	135,360	100,000	Δ 35,360	寄付金他
県委託事業収入	145,000	145,000	0	
当期収入小計[A]	1,522,700	1,325,000	Δ 197,700	
前期繰越収支差額	1,133,806	717,177		
収入合計[B]	2,656,506	2,042,177	Δ 614,329	

## 支出の部

(単位 円)

科目	H21 決算額	H22 予算額	差異	摘要
全国総会派遣費	150,000	90,000	60,000	全国総会派遣費 30000 円×3 人分
総会開催費	63,792	60,000	3,792	会場費・講師謝礼・資料作成代・弁当代
全国総会・ブロック研修会負担金	20,000			関連団体負担金へ組み入れ
研修会開催費	173,020	80,000	93,020	会場費・講師謝礼
会議費	189,780	150,000	39,780	役員会・理事会・看護の日係り交通費
会費管理費	6,930	6,000	930	本部への払込手数料 会費管理に関わる通信費
事務費	34,855	35,000	Δ 145	事務用品費
通信費	239,187	240,000	Δ 813	郵送費(総会、研修会、役員会の案内・機関紙など)・電話代月10000円
機関紙発行費	40,970	40,000	970	3 回発行
関連団体負担金	13,105	25,000	Δ 11,895	性教育推進連絡協議会会費 5000 円・全国総会負担金・北海道東北ブロック研修会負担金各 10000 円
HP 維持管理費	65,790	60,000	5,790	サーバー管理費(年間 24000 円)・会報PDF化・HP 修正
慶弔費	0	5,000	Δ 5,000	
雑費	9,700	5,000	4,700	
予備費	227,115	60,000	167,115	全国母乳育児シンポジウム後援 宮城県看護協会会館建設募金協賛
県委託事業費	144,880	145,000	Δ 120	会場費・講師謝礼
法人関連費		70,000	Δ 70,000	法人税
事務所経費	560,205	580,000	Δ 19,795	家賃 40000 円 光熱水費
当期支出合計[C]	1,939,329	1,651,000	288,329	
当期収支差額[A]-[C]	Δ 416,629	Δ 326,000		
次期繰越収支差額[B]-[C]	717,177	391,177	326,000	



# 宮城県助産師会平成22年度事業計画

## 1. 運営に関する事業

- (1) 社団法人日本助産師会総会 埼玉県 5月28・29日
- (2) 社団法人日本助産師会北海道・東北ブロック研修会 福島県 10月9日
- (2) 社団法人宮城県助産師会第1回総会 4月25日
- (3) 社団法人宮城県助産師会拡大役員会（旧理事会） 年1回
- (4) 社団法人宮城県助産師会理事会 月1回
- (5) 社団法人宮城県助産師会機関紙発行 年3回
- (6) 胎盤処理に関する会議 必要に応じて
- (7) みやぎ子育て・女性健康支援センター事業助成 随時

## 2. 教育に関する事業

	研修名	月日	定員	場所
1.	平成22年度宮城県助産師会総会基調講演 「子宮頸癌 ～検診とワクチンで予防できます～」 国立病院機構仙台医療センター 産婦人科部長 小沢信義先生	H22.4.25	人	仙台 ネットU
2.	宮城県看護協会主催「看護の日」参加	H22.5.8		ネットU
3.	H22(社)宮城県助産師会第1回研修会 ○「最新の感染症対策」 スズキ記念病院 佐々木浩美氏 ○「助産師が行う乳腺炎対策（仮題）」 まんまはうす 武者文子氏	H22.7.25	人	スマイル ホテル シェルブール内
4.	宮城県委託助産師活動普及事業 仙台会場 「安全・安心に子を産み育てるために」 午前（未定）予防接種講演会	H22.10.17(日)	人	エルパーク 仙台
5.	宮城県委託助産師活動普及事業 会場未定 「安全・安心に子を産み育てるために」	未定	人	未定

## 3. 各関連団体に関する事業

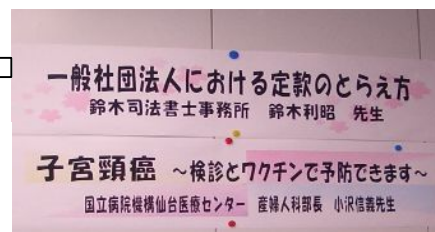
1.	宮城県性教育推進指導者研修会	H22.1.		県庁2階
2.	宮城県小児保健研修会	未定		未定

## 4. その他

1.	開業助産師マップ作成検討委員会	随時		随時
----	-----------------	----	--	----



宮城県助産師会の社団化にあたり、ご尽力頂いた鈴木利昭先生です





## 平成22年度承認された提案議題

- ① 一般社団宮城県助産師会への入会について  
機関紙でもご説明致しましたが、本部が公益法人格を取得することに伴い、各県支部はそれぞれ法人格を取得するように、本部の指導の元すすめておりました。たびたびの役員会を経て、宮城県支部は、平成22年1月20日、一般社団宮城県助産師会資格を取得しました。  
会員の皆様には、総会にて承認を頂きまして自動的に、法人格を得た一般社団宮城県助産師会に入会頂くこととなります。ご確認下さい。
- ② 本部会館取得に伴う寄付金について  
5年にわたり、会員の皆様には多大なるご厚情をお願いしております。現時点で残66万円の未払い金です。完納は平成22年12月末日。  
「助産師 2010 vol64 P64」をご覧ください。完納の県がほとんどであります。  
再三、ご寄付の依頼を致すことで、承認頂きました。  
6月中旬、個人通知で依頼の文書を発送致します。よろしく御協力願います。
- ③ 一般社団宮城県助産師会細則について

### 第1章 総則

(目的)

第1条 この細則は一般社団法人宮城県助産師会を運営するために定める。

(理事)

第2条 一般社団法人宮城県助産師会理事を次のようにおく。

1. 代表理事を会長とする。
2. 副会長を2名おく。
3. 理事の内1名を会計とする。
4. 理事の内1名を書記とする。
5. 理事の中から監事をおく。

(役員)

第3条 一般社団法人宮城県助産師会に以下の役員をおく。

1. 3部門会長  
内訳 助産所部会長・保健指導部会長・勤務部会長
2. 教育委員
3. 災害対策委員長
4. 安全対策委員長
5. 会計監査2名
6. 顧問若干名
7. 地区役員若干名

(役員 の 責 務)

第4条 役員は一般社団法人宮城県助産師会理事会に出席し、会務の執行のために、発言が出来る。

### 第2章 福利規定

(慶弔費)

第5条 この規定は社員の死亡に際して、福祉に関する事項を定める。

第6条 福祉に関する審査は、本会理事会にて行い、代表理事がこれを決算する。

第7条 社員は以下の規定により給付を受ける。

1. 死亡の場合 弔慰金 5,000円

附則 この細則、第2章は、平成22年4月25日から施行する。



## 平成22年度一般社団法人宮城県助産師会理事・役員体制

### ① 一般社団法人宮城県助産師会

代表理事(会長)	新田みつ子
理事 (副理事・副会長)	石川初枝
理事 (副理事・副会長)	後藤美子
理事 (会計)	山岸和子
理事 (書記)	田村雪子
監事	後藤あき子

※細則にて以下の役員を置く

教育委員	後藤あき子
勤務部長	高橋純子
保健指導部長	加藤由美
助産所部長	小野由起子
災害対策委員	伊藤範子
安全対策委員	伊藤朋子
会計監査	生田目サツ子
会計監査	坂詰昌子
顧問	新田双葉
顧問	伊藤祝子

### ② 地区理事は→ 細則にて以下の地区役員を置く

仙台	青木喜美代
石巻	齋藤清子
大崎	高橋あや子
白石	佐藤貞子



### お知らせ

みやぎ子育て・女性健康支援センターでは、ボランティア会員を募集しております。業務は電話相談・メール相談をお受けすることです。講演やマタニティスクール・育児教室等の派遣もお受け頂ければなお嬉しいです。

- ・交通費 1日 2,000円
- ・宮城県ボランティア保険に加入頂きます。
- ・勤務の方は、余暇を利用してご協力頂ければと願っております。
- ・事務局までご連絡下さい。

講演等の予定は、みやぎ子育て女性健康支援センター HP <http://woman-assist.sakura.ne.jp> カレンダーに掲載しております。見学希望の方は、ご連絡下さい。  
022-297-1551  
siensenter@gmail.com





## こんにちは!! 助産院さん



仙台市太白区

母乳育児相談室まんまはうす／武者文子

### みなさんこんにちは

太白区長町で開業している母乳育児相談室「まんまはうす」の武者です。1999年に開業してから11年目に入りました。開業のきっかけは、夜勤のパート勤務をしている吉田レディースクリニックで、出産する方が増え、入院期間が一日短くなったことで、母乳育児の確立が入院中だけでは心配だったためです。当時、クリニックの主任だった西城幸子さんと二人ではじめました。そのころのクリニックには相談を受ける場所の確保が難しかったためにアパートを借りました。そのような経過だったので、はじめはクリニックで見えていて心配なお母さんたちのフォローがほとんどでした。

だが、次第に相談者も増えて、他の病院で出産した方もいらっしやるようになりました。

そのうち吉田レディースクリニックでも改装で相談の場所も確保でき、現在クリニックでは、産後1カ月健診までは無料で母乳育児の確立のための援助をしています。

最近の私の働き方は、仙台市の新生児訪問指導員、妊産婦訪問指導員、育児ヘルプ相談員としての家庭訪問、「まんまはうす」での母乳育児相談、吉田レディースクリニックでの夜勤です。それに加えて、2005年から性教育出前授業グループの「うぶごえ座」代表もしています。うぶごえ座としての授業は小学校が多く、学校の先生を巻き込んでお産の劇をしたり、子どもたちに体のしくみや命の大切さを伝えていくためにメンバーと一緒に活動しています。時々、小学校の近くにあるクリニックや病院の助産師に声をかけてメンバーに入ってもらったりしています。その他、個人で中学校、高校、短大での講演活動もしています。

このような働き方ですと現場重視でしたので、私は研究ということがよく分からず、その部分の弱さを感じていました。奮起して2007年から宮城大学大学院看護学研究科に在籍し、改めていろんな看護理論を勉強しなおす機会を得ました。そして、研究方法を一から学ぶ機会を頂き、乳腺炎の看護にかかわる研究を塩野悦子教授のもとでさせて頂きました。修士課程の2年間でたくさんの事を学ぶことができ、その学びと大学院でできた先生たちや友人との関係は私の財産になりました。今年3月につくば市で開催された日本助産学会学術集会で、大学院で行った研究の発表をし、ポスター優秀賞を受賞しました。

このように、バイキングのように好きなものをチョイスしながら働いていますが、病院で働いていたときよりも人と人とのつながりの大切さを実感しています。例えば、感染性乳腺炎罹患で必要になってくる薬の処方や、膿瘍形成時の切開手術はお隣のたいはくる内に開業している外科の先生とのタイアップをしていますし、小児科の先生方とのやりとりもあります。私がお休みの時には、他の母乳育児相談室の仲間の助産師にお願いしたり、保健師さん達や学校の先生達ともたくさん知り合いになりました。吉田レディースクリニックでの仲間との付き合いも楽しく、大切です。これからもしばらくはこの形で助産師としての仕事をしていけたらと思っています。

#### 編集後記

一般社団法人宮城県支部の記念すべき、第1回機関紙の編集にかかわれた事を幸せに思います。白熱した第1回総会の様子などお知らせ致したいことはたくさんありますが、書面に限りがございますので、残念です。願わくはこの機関紙が会員の交流の場になればと思っています。

引き続き会員の皆様には、積極的な投稿をお願いします。特に勤務部からの投稿が少なく、研究論文や施設の紹介などお願い出来ればと嬉しいです。「こんにちは!! 助産院さん」は、どなたが書いて下さいますか?

最後に皆様のご健勝を願い、編集後記と致します。

—担当・書記 田村雪子—



聖路加看護大学の聖ルカ学会で塩野悦子教授による助産師の連携に関する研究の発表をした時の写真です。宮城大学の大沼先生と一緒に。